



価値創造の全体像

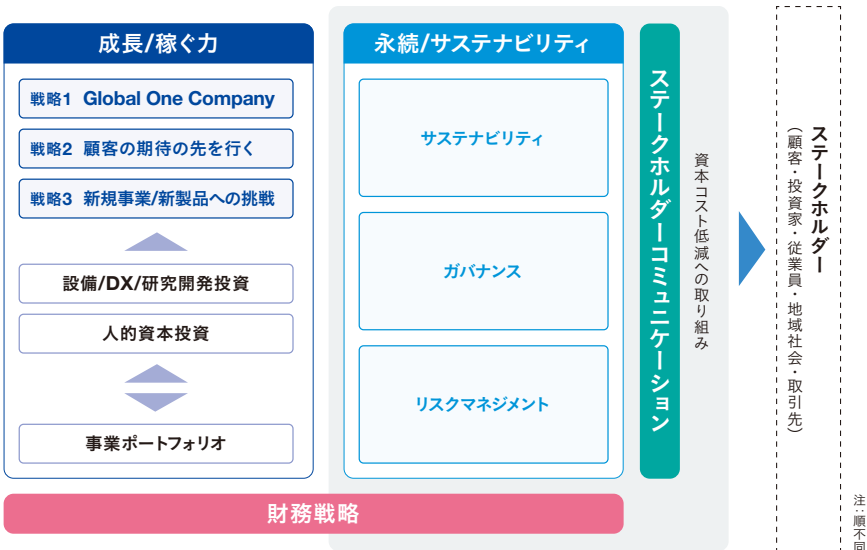
3カ年中期経営計画 「One Vision, New Stage 2027」

3カ年中期経営計画 概要

リケンテクノスグループでは、2025年4月より3カ年中期経営計画をスタートさせました。

本3カ年中期経営計画では、前3カ年中期経営計画の大枠を継承しつつも、財務戦略をはじめとする新たな戦略を設定しました。

利益に関する経営指標だけでなく、ROE、株主資本コストといった市場が求める指標にも目を向け、これらの戦略により、グループ全体のさらなる発展と企業価値の向上に取り組んでいきます。



3カ年中期経営計画 戦略

3カ年中期経営計画では、「稼ぐ力」の伸長と「サステナビリティ」を2本の柱として注力し、資本効率の向上のための財務戦略、ステークホルダーコミュニケーションに取り組んでいます。

成長/稼ぐ力

戦略1 Global One Company

- グローバルポートフォリオの最適化
- グローバル生産体制の再構築
- グローバル人材育成／確保
- グローバルなシステム／ネットワークの統一化

戦略2 顧客の期待の先を行く

- ものづくり統括本部の設置
- 製品開発スピードの向上
- 情報活用
- 人材育成／最適人員配置

戦略3 新規事業/新製品への挑戦

- 新製品：新規製品の売上高比率の向上
- 新規事業：既探索テーマの中から事業化検討テーマを選定
- 知財戦略：IPランドスケープの実践深化

永続/サステナビリティ

サステナビリティ

- 本業を通じた環境貢献
- 非財務分野の取り組み強化
- 気候変動への対応

ガバナンス

- グループ経営管理の高度化
- サステナビリティガバナンスの強化

リスクマネジメント

- 事業継続マネジメントの高度化
- サプライチェーンマネジメントの強化

ステークホルダーコミュニケーション

- IR/SRをはじめとする対外的な発信の強化
- 顧客・取引先との信頼関係の強化
- 地域社会との対話/連携の強化
- 従業員エンゲージメントの向上

財務戦略

- 「価値創造するバランスシート」に向けた改革と資産効率の向上
- 成長/戦略投資および株主還元等の実施
- 経営資源の最適配分

3カ年中期経営計画 進捗状況

2025年度は、本3カ年中期経営計画の初年度として、各戦略に基づいた施策を完遂するための組織や仕組みの構築を中心に取り組みました。

「稼ぐ力」の伸長に向けては、戦略の1つ目「Global One Company」のもと、グローバルに最適な生産体制を構築するため、食品包材事業の生産設備増強および国内工場の拡張を決定し、ASEANにおける非日系顧客の開拓に注力しました。戦略の2つ目「顧客の期待の先を行く」では、ものづくり統括本部による開発・製造・品質管理・購買の一体運営を深化させ、開発段階からの購買部門の参画やサプライヤー・顧客との交流を通じて、潜在ニーズの把握と共創の拡大を図りました。戦略の3つ目「新規事業/新製品への挑戦」については、ものづくり検討委員会で開発テーマの精査・選定に加え、新規事業創造部による産学・産産連携テーマの事業化に向けた取り組みが進展しました。加えて、「サステナビリティ」においては、CO₂排出量削減、人権・BCM・ガバナンス強化を推進し、ステークホルダーコミュニケーションについては、IR/SR活動の拡充や工場所在地域への貢献活動にも取り組みました。さらに、財務戦略の

もと、「価値創造するバランスシート」に向けた改革を継続的に実施しています。

2026年度は、中期経営計画の達成に向け、グループ一体となって各種施策の実行を加速していきます。

経営指標（連結）

	2025年度 実績	2027年度 中計最終年度 計画値
売上高	1,313億円	1,500億円
営業利益	114億円	120億円
経常利益	117億円	120億円
当期純利益	75億円	65億円
ROS	8.7%	8.0%
ROE	11.4%	10.0%
ROIC	11.7%	11.0%
EBITDA	156億円	170億円

売上高、営業利益、当期純利益、ROS、ROE（連結）

